



いじゅの木だより vol. 55

発行元：社会福祉法人 伊集の木会 就労支援いじゅの木

住所：那覇市字古島12番地1 電話：098-864-0033

編集担当：猿渡 梓司

【8月の予定】

～B型・就労移行～

- 4日(日) 一万人エイサー
- 5日(月) 振り替え休日
- 8日(木) 非難訓練
- 9日(金) 工賃支給
- 12日(月) 山の日(休み)

～児童デイサービス～

- 6日(火) リズム遊び
 - 5日(月) 水遊び
 - 9日(金) 夏の遠足
 - 13日(火) 音楽療法
- など

【“一万人エイサー”に向けて練習開始】

一万人エイサーに向けて8日より練習が始まりました。クラブの時間や日々の就労活動のあとを活用して練習をしています。自分のペースで踊りを楽しむ方や上達しようと頑張る方、利用者の方々のいろんなモチベーションがひとつの舞に仕上がっていきます。また、保護者会の皆様から一万人エイサーを頑張る利用者の方々に差入れを頂きました。保護者の方々のあたたかい応援を今後ともよろしくお願ひします。



差し入れありがとうございました！

🌸🌸🌸🌸🌸🌸 【七夕 施設彩る笹の揺らぎ】 🌸🌸🌸🌸🌸🌸

7月7日は七夕。5日、就労移行・B型利用者の方々は短冊に願いを書き、食後のお昼休みの時間を利用して笹の葉に飾り付けました。お昼休みの短い時間でしたが自分の短冊をどこに飾るか悩みながらも楽しむ様子がみられました。笹は玉学園にある竹林から毎年切り出したものを使っており、飾り付けを終えて完成した笹はとても風流な雰囲気漂わせながらいじゅの木を彩ります。



🌸🌸🌸🌸🌸🌸

【福祉事業所説明会】

8日、大平特別支援学校PTAが主催する福祉事業所説明会にいじゅの木もブースを構え参加しました。ブースではいじゅの木の就労継続支援B型、就労移行支援、さらに一

般企業に就職したあとにかかわる定着支援の説明を行いました。来場された保護者の皆様とは意見交換の場にもなり大変勉強になりました。



6月度皆勤のみなさん

皆勤手当を貰った方を発表します

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 伊禮保光さん | 比嘉正明さん | 平良隆行さん |
| 豊里拓史さん | 赤嶺明彦さん | 城間和美さん |
| 具志晃一さん | 山岸浩之さん | 上原園美さん |
| 赤嶺悦子さん | 宮城 力さん | 合計11名 |

○小嶺雅宣さん

那覇クリーンサービス様にて実習を行いました。朝は毎日地域を回ってゴミの収集を行い、会社に戻ると資源ごみの仕分け作業などを行ないました。実習目標として①任された仕事に責任を持つこと、②焦らないようひとつひとつの作業をしっかりとこなすことを掲げました。実習後、自己評価として「その会社に入っているつもりで仕事に責任を持ち、集中して取り組めた」と話している他、小嶺さんなりに反省点をしっかりとまとめています。今後につながる充実した実習内容だったことが伺えます。



実習を終えての感想

3年前の冬に（那覇クリーンサービスで）同様の実習を行いました。今回は夏の暑い時期の実習だったこともあり、ゴミ収集では雨に濡れたように汗をかきながら取り組み、夏の現場のきつさを知りました。また、ゴミの捨て方や回収の仕方など今回の実習で初めて知ったこともありました。（本人の文章を要約）

○赤嶺悦子さん

現在就労移行班で訓練中の赤嶺さん。今後は本人の希望に合わせて就労継続支援B型に移行し、室内・カゴ洗浄班で活動することになっています。そこでサービスの移行がスムーズにできるよう、6月10日から室内・カゴ洗浄班で実習が始まりました。実習目標として「手が空いたときは次にやるべきことを職員に質問する」と掲げ、施設内の清掃作業やヤクルトからの委託業務に取り組みました。実習を終えての感想からも前向きな取り組みだったことが伺えます。



実習を終えての感想

仲間と一緒に掃除をするのが楽しかった。次はカゴ洗浄を皆としてみたい。

担当職員からのメッセージ

指示された作業は快く返事をし、作業中は私語も少なく集中しています。特にヤクルトからの委託業務で行った箱折りはキレイで早いです。（牧田）

七夕 笹の葉に飾りつけ

5日、七夕をうけて笹を飾りつけました。七夕飾りは職員が用意したものだけでなく、児童がおもしろおもしろに作成したものも多くありました。実際に笹に飾りつけるときには多くの児童が参加することができオリジナリティーあふれる笹ができました。



七夕飾りの作成の様子



七夕の前で記念撮影



笹が気になるバナードさん

音楽療法 楽器に触れてみる

大田倫子先生による音楽療法のひと場面。写真右はサンシンやミニ木琴、デスクベル、打楽器などの楽器に実際に触れ、先生の伴奏に合わせて音を出している様子。それぞれが違う楽器を持つことで、自分の出す音を感じながら取り組むことができたように見受けられました。学校だけでなくいじゅの木でもまたいろんな経験ができるよう先生と協力して活動につなげたいと思います。



遊びの様子 「おうち」づくり

7月、児童の遊びにプチブームが沸き起こりました。普段下に敷くマットを箱状に組み立てたところ、その箱を「おうち」と称して写真右のような居場所になりました。7月下旬には下火になった遊びですが、今でも遊びとして「おうち」を作る児童もいれば、落ち着く場所として「おうち」を作る児童もおり、「おうち」の役割も多様化しているように見受けられました。



おやつのリクエスト 自分で作ってみた

「カップケーキづくりたい」。そのように話す柊哉さんの言葉をきっかけにカップケーキ作りに挑戦してもらいました。職員が説明する手順に沿って、自分で卵を割り、ボールに入った粉を混ぜ、オーブンの設定、串を使った焼き加減の確認もしました。出来上がったカップケーキはチョコレートのマーブルが入った工夫もあり、おやつで食べた児童からは大変好評でした。



カップケーキを作った柊哉さん

児童が夏休みを迎え、22日から多くの児童が朝から児童デイサービスを利用しています。長期休みはデイサービスが居場所の中心になることが多く、イベントも交えながら日々の生活を過ごしています。7月は体育館での運動やプラネタリウムに行ってきました。夏休みは始まったばかりですが、児童の様子を写真で紹介します。

体育館での運動

毎週火曜日はみはら事業所と合同で体育館を貸し切った活動を1時間程度行なっています。この日は準備運動のあとにボール投げやバスケットゴールを活用したシュート練習を行いました。暑い体育館での活動のため休憩と水分補給を適切に行い、児童にとって運動で発散できる有意義な場になるよう努めて取り組んでいます。



プラネタリウム

26日、牧志駅近くにある星空こうみんかんにてプラネタリウムを鑑賞しました。多くの星座の名前がでるなか指でさしながら星を追う児童もおり楽しんでいる様子が伺えました。他の団体も一緒にいるなかでの鑑賞でしたが児童ひとりひとりが落ち着いて行動することができ、最後まで無事に楽しく過ごすことができました。



工作をする金城さん



絵の具遊びで笑顔の城間さん



食後はゆっくりDVD鑑賞



ブロックで王冠づくりました
いじゅの木だより vol.55



星空こうみんかん前のひとこま



星空こうみんかん前のひとこま
発行日：令和1年7月31日